

2018年7月15日 主日礼拝

プレイズ

奏 楽

賛 美 聖歌397番「遠き国や海の果て」
(主に向かって喜び歌おう)(聖霊の主よ)

3つの愛

聖 書 ①創世記 15章1～6節(p16)

音 楽 J.PLUS クワイア「あなたの瞳」

証 詞 福地亘兄(モーセ会)

メッセージ「自分を変える・シリーズ3」倉知契副牧師

賛 美 「明日はどんな日か」(献金・西日本の被災地のため)

頌 栄 「主の祈り」アーメン

祝 禱

「このようにして、主の言はますます盛んにひろまり、
また力を増し加えていった。」
(使徒十九の二十)

【町田ニュース】

- ・ 先週の「ほっとママの会」が祝されました(大人9名、子ども2名参加)。
- ・ **本日の第2礼拝、明日の月曜礼拝と早天祈禱会はキャンプのためお休み。**
- ・ 本日午後5時から「東京カルバリーチャペル」。説教:天野弘昌師。
- ・ 朝6時から「早天祈禱会」が祝されています(今週は水、木、金、土)。祈りを通して素晴らしい世界が開かれます。
- ・ 今週も祈禱会を大切に(Y)。水曜夜は梅津伝道師、木曜朝は丸藤伝道師、金曜夜は森屋伝道師。
- ・ **今後土曜日4時半の「祈り会」は午前6時の早天祈禱会に合流になります。**
- ・ 「町田カルバリー ファミリーキャンプ」へ行かれる方は、このあと10時15分集合。35分出発です。54名参加。明日午後5時半着予定。キャンプが守られるようお祈りください。
- ・ 映画「最後のランナー」。有楽町スバル座にて公開中。
- ・ 今週も宿題に従って、**聖書通読・Q.T.**しましょう。



畑の中の宝物

いよいよ、夏のファミリーキャンプが始まります。2012年の記録を見ると、参加が42名(泊り33人、日帰り9人)という年がありましたが、今回は54名(泊り38人、日帰り16人)と町カルの歴史に残る参加人数となりました。

また今年も統計史上初の6月29日に早々と梅雨が明け、真夏日が続いています。早天祈祷会では「良い天気を与えて下さい」ではなく、「丁度良いお天気を与えて下さい」とお祈りしてきました。健康が守られ、祝福されるようお祈りをお願いします。

関西では集中豪雨による川の氾濫・土砂災害のため広島・岡山を中心に170名以上の犠牲者が出ました。ほっとママの会は、坂本先生が興味深いお話をされました。最近、集中豪雨で土砂崩れが頻繁に起こっています。それは、木が根を張っていない、つまり、森を作っていないことと関係しているだろうとの指摘でした。「日本はもっと『森づくり』をしていかなければならない。今は、林業で働く人も需要も少なくなり、森は手が入らず荒れたまま、放っておかれている。森を育てないといけない。根がしっかり張っていれば、雨で土があのように流されることはないはず。」ということでした。森を切り崩し新興住宅地を建てますが、同時に森をつくることをしていかななくてははいけないのです。

それにしても、幼児教育の坂本先生がなぜ森について詳しいのでしょうか？

坂本先生は、シオン幼稚園で農村伝道神学校の森を利用するため、子どもの教育のため見識を広げようと、わざわざ信州大学の「森林塾」の体験留学を申し込まれたことがあるそうです。参加者としては40代で一番の年配者だったそうですが、若者たちに交じり、朝と夕は講義を受け、昼は幹にロープをかけて、高い所に登り、チェーンソーで木を剪定する・・・という経験までされました。木が根をしっかりと張るためには、そのような手入れが必要なそうです。

異常気象がもたらされた背景や、地震や集中豪雨という自然現象が大災害につながる背景に、人為的な要因が絡んでいることが少なくありません。「想定外」という言葉が言い訳に使われることがあります。本当は想定可能だったのではないのでしょうか。経済優先、利便性優先よりも、命を守ることを優先し、すべきことを大人がしていれば、もっと守れる命もあったのではないかと悔やまれるのです。

「すべての生き物を治めよ」(創世記1:28)と命じられた私たちは、主の前に襟を正してその責任を果たさなくてはなりません。被造物への理解が必要です。大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:使徒19章～22章 Bコース:詩編17章～6篇